

3類型	鋳工業品の生産に係る技術	通巻番号	1 - 20 - 010
地域資源名	旭川クラフト	認定日	平成20年9月5日
地域	北海道旭川市	所管省庁	経済産業省

事業名：旭川クラフトの軽薄加工技術を活用した、軽く・薄く・丈夫なクラフト製品の開発

会社名：株式会社 ササキ工芸

所在地：北海道旭川市永山14条3丁目4-10

連絡先：TEL：0166-25-2288

HP：<http://sasaki-kogei.com>

FAX：0166-22-2101

事業概要(新たな活用の視点)

- 旭川クラフトの高度な加工技術を活かし、軽さ・薄さ・丈夫さを追求した木工クラフト製品を開発する。メガネフレームケース、ICカード入れ、ネクタイ、アクセサリなど、従来、クラフトが進出していなかった分野を開拓していく。
- 木製メガネフレームなどのクラフト業界にとって馴染みの薄いウェアアイテムの商品化をはかるため、メガネ産業の本場・福井県鯖江市などの専門家の協力を得て 製品開発を行う。



【木製ひな人形】

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

競争力

- 軽く・薄く・丈夫な木工クラフトの製作には、高度な技術と知識を兼ね備えた熟練技能者の存在はもとより、木材加工の豊富なノウハウが必要となる。今回の開発では、ワイヤーなどで強度を増し、木部を極限まで薄く削り軽くすることで高級感を演出し、差別化を図る。

市場性

- 所得の二極分化が進む中、高所得者による本物志向が高まっており、エコロジーの視点からも、竹製、木製など自然素材を使ったものへと需要がシフトしており、市場ニーズは高まっている。

販路

- 専門見本市・インテリア展・ギフトショーへの出展や、専門店およびデパート、セレクトショップへのPR活動も行っていく。また、海外の見本市へも出展し、国内のみならず、海外にも販路を拡大していく。



【工場での作業風景】

地域資源における関係事業者との連携

- 木材の接着加工や製品の強度試験などについては、北海道林産試験場と旭川市工芸センターと連携しながら開発を進める。また、北海道在住のデザイナーの協力を得て、デザイン開発を行う。



【木工クラフト製品】